

私の名前は  
“未来くん”でッす。



南国市が燃えだした。市内外から、こんな声がチラチラ聞こえてきます。ことしの南国市は、「21世紀に向けた自立をかけた挑戦の正念場の年」と位置づけています。あなた作る人・わたし食べる人——では、面白くもなんにもありません。みんなでつくる南国市の未来をテーマに「アイデア・ポスト未来くん」と「新総合計画への提言」を集めてみました。あなたの感想・提言を、アイデア・ポスト「未来くん」が、お持ちしています。



# 市民参加のまちづくり

## 新総合計画へ反映

ことし十二月を目途に南国市の新しい総合計画がつくられていきます。これまでの計画が「総合的な計画のための計画」であった反省もあって、市民参加・職員参加で、自前の計画をつくらうというわけです。このため、いろんな創意と工夫をこらして、みんなのアイデア・提言を、しっかりと活かして、おもしろく、役に立つ計画にしたいです。

市民とは、▼ふれあいトーク ▼市政懇談会 ▼市政井戸端会議 ▼総合計画のフォーキングチーム・審議会、そして、アイデア・ポスト未来くん、などで接点をつくらうとしています。職員とは、▼施政方針などを市長が庁内放送する、おはようメッセージ、▼三十歳未満の職員が誕生月に、昼食を食べながら自由に話し合う

「潜在的成長力」をもった我がまち・南国市です。この特集で、共に考えてみませんか。（この特集は、市企画課の「未来くん」が提案しています。）

アイディア・ポスト  
建設的な  
提言  
明日の南国市を拓く



### 職員のアイデアで 市民も制作応援

市民から市政へのアイデア、提言をしてもらうアイデア・ポスト（未来くん）が、市庁舎一階市民ホールに登場しました。21世紀への自立と挑戦に向けて、一般市民からも広く建設的な知恵を出してもらおう——。というのが発案者・企画課の狙い。この意図をくみとって2か月がかりで構想したのが藤田威佳志（いかし）さん（市都市計画課）そして、制作には（株）耕崎工業（耕崎国夫社長・立田）が「後方支援」という職員と市民の共同作品です。ポストは、高さ約2mの鉄製、まほうの大地・南国から力強く伸びた円型の青い部分が頭脳。市民のアイデア・提言を投函口から受けて21世紀への芽吹きを「赤い二葉」がまぶしく輝いて見えます。

### アイデア ①

## 商店の税免除

### 税金「よめん」の街に

市の中心街・後免町は衰退しきっています。この街をどうすれば活性化できるか、いろいろのハード面での案もある



ようですが、莫大な金と地域住民の同意を取りつけることなど、その実現は大変なものがあると思います。

そこで、次のようなアイデアを提案します。

▼御免町 ▲ つまり、藩政時代、野中兼山が土佐の国の中心に最も商売の盛んなところをつくるために、この地で商売をする者に「永代年貢を御免」としたという古事を今一度思い起こし、現在の後免町で個人商店を営む者、およびこれから商店を始める者に

ついて、所得税を全面免除とする特例を設けてはどうかでしょうか。古事にちなんで「所得税免除」というセンセーショナルなニュースは全国を駆けめぐり、一躍、日本中に知れ渡るでしょう。

### アイデアを ふくらませよう

「よめん」と「土佐日記」は、南国市を象徴するキーワードで、インパクトが大きいですね。

藤本さんの「所得税の全面免除」というアイデアを基礎にして、「推し」してみませんか。「消費税はとらない

### アイデア ②

## 「ひらがな文化」

### 全国に情報発信の基地

「ひらがな文化」を全国に情報発信する基地をつくるイベントの開催を提案します。▼キーワード・ひらがな▼コンセプト・ひらがなの

▼イベントの内容 全国から、ひらがなをテーマにした芸術作品を公募し、良い作品については賞を贈る。

また、展示会を開催したり、出版物を出すなどして、日本特有の「ひらがな文化」の情報発信基地を形成する。

このイベントにより、南国市の文化的なアピールを行い、市の活性化につなげる。

前田学治  
(福生・31歳)

●特集 新総合計画はどんなに……

あなたなら、どうする

子や孫へのプレゼント

新総合計画は、

どんなに……

市は現在、行政計画策定委員会で「市の現状と課題」を掘り起すと共に市民も参加したワーキング・チームで二

十一世紀に向けた新総合計画を検討しています。南国市をとりまく社会・経済・文化情勢も大きく様変わりしてきました。若者の県外流出、後継者不足、高齢化の進展など、極め

て深刻な状況もあります。一方、南国市ほど条件のそろったところはない。生かして切れないのはなぜか。という疑問も投げかけられています。

あなたなら我が南国市をどうされますか。私たち大人にできることは子や孫の時代に誇りと愛着の持てる南国市をどうつくっていくかです。それが大人の責任と最大のプレゼントです。

「未来くん」は、  
こんなに提言  
左の表は、「未来くん」の基本構想です。南国市の個性や特性、時代の要請などを考えて、提言しています。

	南国よいとこ、何度もおいで……
言葉	●土佐のまほろば ●まほろばの里 ●陸・海・空のゴールドトライアングル ●ユニークな「ごめん」のネーミング ●紀貫之の「土佐日記」 ●雪の降らないあったか南国
人	●人口減（若者の減少・高齢化の進展） ●南国的な気性・人柄 ●いごっそう・個性派 ●紀貫之・野中兼山・長宗我部元親・坂本龍馬・吉川頼次・榎尾茂
行政	●人口10万人の副県部・南国市 ●なんごく・こうち地方拠点都市 ●健康文化都市
交通	●東京へ70分の高知空港 ●高速道路南国IC ●高知新巻に隣接 ●R土讃線土佐くろしお鉄道阿佐線・土電電車 ●高知東部自動車道 ●土佐あげばの街道
自然	●青い海・青い空・おいしい空気・すこぶる健康な自然環境 ●中の川の名水 ●石土地のバードウォッチング ●黒滝のキャンプ ●十市のヤマモモ ●高知海洋のなぎさリフレッシュ、チリメンジャコ ●白木谷の梅林 ●二期作
教育	●高知大農学部・高知医大・高知工専・高知農校・高知東工・高知高専・清和女子高、県工科大に隣接 ●農業技術センター ●南国オフィスパークセンター
	●紀貫之国領跡 ●国分寺 ●阿曾城跡 ●歴史民俗資料館 ●峰寺 ●平神社 ●貫之御膳 ●まほろばの酒蔵 ●ヤマモモジュース ●西島園芸団地 ●二宮ぶどう園 ●巨峰園レジャーランド ●世界の電車 ●はらたいらと世界のオルゴールの館 ●土佐のオナガドリ ●えんこう祭り ●はしけん大会 ●スモージュース
	●早場米・特別表示米 ●園芸王国 ●県下一の農業就労人口・生産販売高 ●多極分散法の指定(花き) ●FAZ・物流基地・トラック団地 ●世界のカジノ・鉄道のミロク ●農機具のセイレイ・スズエ ●テクノ団地 ●南国オフィスパーク

私の提言

「未来くん」の考えた

南国市の未来像は……

基本計画では、こんなきれいな事ではなくて、「南国市が発展しない、発展できない問題の根っこは何か。それを解決する方針や具体的な方策はどうか」というところの議論が必要になってきます。今回は、「未来くん」の未来像として提起しました。あなたなら、どうする。子や孫へのプレゼント構想をお聞かせください。

ポストが待っています。アイディア・ポスト。未来くんは毎月末に開けています。初回の六月末日には十件の投稿がありました。二件のユニークな「提言」は、前ページに掲載しました。これからも「広範なんごく」で発表していきます。そのほか、ゴミ袋の量販店での販売、市役所に受付・案内係の設置、遊園地の設置、市役所駐車場の整備、ケーブルテレビの設置などの要望などがありません。●今月号の特集「みんなでつくる南国市の未来」についての建設的なアイディア・提言を待っています。●未来くんの提言「2001なんごくの自立をかけた挑戦」を参考にされまして「あなたなら、どうする」南国市の未来について、どしどしお寄せください。市庁舎一階市民ホールの「未来くん」が待っています。月末に開けます。

●みんなでつくる南国市の未来

2001なんごくの自立をかけた挑戦

- まちづくりのコンセプト
  - ・ 誰れもが住みたい、働きたい、参加したいと願うまち
- なんごくのプライド
  - ・ 土佐まほろばの里、陸・海・空のゴールドトライアングル
- 元気印のキーワード
  - ・ ひとが元気、こころが元気、そしてまちが元気
- アクション・キャッチフレーズ
  - ・ 元気、やる気、本気のまちづくり

元気印のキーワード	パワーアップ10のチャレンジ	まちづくりのイメージ
ひとが元気	フレッシュ・アップ ●出会い、ふれ愛、市民が主役のユー・アイ・タウン ●女性が、男性と共に参加するミス・ミズ・ミセス・タウン ●時代をつなぐ人材豊かなヤング・タウン	一人ひとりの市民が南国市に誇りと愛着を持ち、定住を志望するような「誰れもが住みたい、働きたい、参加したいと願うまち」を行政と市民が一体となって進めていきます。
こころが元気	イメージ・アップ ●「おはよう」「ごめん」と言えるふれあい・タウン ●「優3ゆめ1」健康文化のヘルシー&カルチャー・タウン ●ヒト、モノ、情報が交流するマルチメディア・タウン	市民の備前感がものの豊かさから「こころ」の豊かさへ変化して心の豊かさを実感できる地産社会を求めています。人と人との交わりを大切に、「うるおいとやすらぎ」「やさしさ」とふれあいのまちづくりを進めていきます。
まちが元気	グレード・アップ ●にぎわいのあるパワーアップ・タウン ●早場米と園芸王国のグリーン・タウン ●花と緑、庭つき快適ハウス・タウン ●働く喜びに輝くファクトリ、オフィス・タウン	都市には、人が住み、働き、学び、憩い、遊ぶという多様な機能が求められています。陸・海・空のゴールドトライアングルにある本市の潜在的成長力を最大限に活用して、2001年の自立に向けての「基本構想」の強化を進めていきます。

●カタカナを意図的に使いました。怒らないで「カタカナ辞典・英和辞典」でお調べください。(カタカナの好きな未来くん)



貞山堀  
岩沼の阿武隈川河口から仙台までを結ぶ「貞山堀」は今から400年ほど前、あの伊達政宗によって造られた全長27.6kmの運河です。別名「木曳堀」とも呼ばれるように江戸時代には仙台城や城下町建設の木材輸送に大いに役立ったと伝えられています。また荒れ地であった仙台平野を開発し、伊達62万石繁栄の基礎を与えました。ところで、貞山という名前は政宗公の追号(死後の称号)であり、偉業を思ひ名付けられました。今では運河を通行する船は少なく、周辺の都市化による排水量の増加によって、排水路としての性格が強くなっています。現在、レガッタ練習コースとして利用されたり(写真)、運河沿いには自転車道が整備され、仙台空港に離発着するジェット機を眺めながら弘法大師堂などの文化財を訪ねたりと、歴史的実感を感しながらサイクリングを楽しむことができます。また、堀全体が釣りの好ポイントで、糸をたれる人の姿も見られます。